
2010年度 決算説明会

2011年 5月12日



三菱ガス化学株式会社

本日の出席者

取締役社長

酒井 和夫

天然ガス系化学品カンパニープレジデント

山崎 慶重

特殊機能材カンパニープレジデント

宮内 雄

機能化学品カンパニープレジデント

倉井 敏磨

芳香族化学品カンパニープレジデント

酒井 幸男

財務経理センター長

杉田 克彦

目次

1. 2010年度 業績について … P 4～16
2. 2011年度 見通しについて … P17～21
3. 参考資料 … P22～25

1. 2010年度 業績について

連結 2010年度(実績)

【単位:億円】

	2010年度	2009年度	増減	増減率
売上高	4,510	3,845	665	17.3%
営業利益	234	41	193	471.2%
(持分法利益)	(179)	(88)	(91)	103.2%
経常利益	364	74	290	394.1%
税前利益	239	75	164	217.9%
当期純利益	190	58	131	225.2%

➤ 販売数量は全般的に増加。販売価格は、輸出比率の高い製品の一部が円高の影響を受けたものの、汎用化学品の市況が全般的に上昇。

➤ 営業利益は、機能化学品と特殊機能材が堅調に推移したことに加え、メタノール・アンモニア系化学品および芳香族化学品の採算が改善し、193億円の増益。

➤ 持分法利益は、海外メタノール生産会社を中心として、91億円の増益。

➤ 投資有価証券評価損、災害による損失、資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額など、139億円の特別損失を計上。

➤ 配当金は年間8円/株を維持。

D/Eレシオ	0.66	0.62	0.04
ROA*	6.5%	1.4%	5.1pt
ROE	6.9%	2.2%	4.7pt
1株当たり 当期純利益	41.9円/株	12.9円/株	29.0円/株
年間配当金	8.0円/株	8.0円/株	0円/株

* 経常利益ベース

※ 本頁以下に記載されている数値は、単位未満四捨五入で表記しております。

東日本大震災による影響

◇ 被災状況

- ① エレクトロテクノ（福島県西白河郡西郷村：電子材料製造子会社）
建屋内装および製造装置の一部に被害が発生し、生産・出荷が停止した。
- ② 鹿島工場（茨城県神栖市：過酸化水素およびポリカーボネートの製造拠点）
製造装置およびバース設備の一部に被害が発生した。当社設備の損傷は軽微であったが、コンビナート内における原材料・ユーティリティ供給が途絶したため、過酸化水素およびポリカーボネートの生産停止を余儀なくされた。

◇ 2010年度決算における影響額

特別損失：30億円

【内訳】

- ① 設備に対する被害 22億円（修繕引当金が殆どを占める）
- ② 棚卸資産に対する被害 3億円
- ③ その他の特別損失 5億円（操業休止に係る償却費・労務費等を計上）

※ 業績に対する影響は主として2011年度に発生する見通し。

セグメント別 連結 2010年度(実績)

【単位:億円】

	2010年度			2009年度			増 減		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	2,271	2,240	4,510	1,808	2,038	3,845	463	202	665
天然ガス系化学品	723	794	1,517	551	662	1,213	171	133	304
芳香族化学品	554	580	1,134	441	517	959	113	63	176
機能化学品	720	641	1,360	554	648	1,202	166	▲ 7	159
特殊機能材	320	275	595	296	308	604	24	▲ 33	▲ 9
その他	4	5	9	5	6	11	▲ 0	▲ 1	▲ 2
消去または全社	▲ 50	▲ 55	▲ 105	▲ 39	▲ 104	▲ 143	▲ 12	49	37
営業利益	126	107	234	▲ 11	52	41	137	56	193
天然ガス系化学品	▲ 5	19	13	▲ 39	▲ 21	▲ 59	33	39	73
芳香族化学品	3	▲ 0	3	▲ 31	▲ 27	▲ 58	34	27	61
機能化学品	86	65	151	36	79	115	50	▲ 13	37
特殊機能材	50	27	77	29	32	61	20	▲ 5	16
その他	2	1	3	2	3	5	▲ 1	▲ 1	▲ 2
消去または全社	▲ 9	▲ 5	▲ 14	▲ 9	▲ 14	▲ 23	0	8	8

(参考)

持分法利益	78	101	179	25	63	88	53	38	91
-------	----	-----	-----	----	----	----	----	----	----

セグメント別 連結 2010年度(四半期実績推移)



【単位:億円】

	2010年度				2009年度			
	第4四半期	第3四半期	第2四半期	第1四半期	第4四半期	第3四半期	第2四半期	第1四半期
売上高	1,095	1,145	1,162	1,109	1,052	986	955	853
天然ガス系化学品	389	405	399	324	392	269	295	256
芳香族化学品	274	306	276	279	256	261	221	220
機能化学品	320	321	366	354	328	320	312	242
特殊機能材	134	141	143	177	154	154	146	150
その他	2	2	2	2	▲ 4	10	▲ 4	2
消去または全社	▲ 25	▲ 30	▲ 23	▲ 27	▲ 82	▲ 22	▲ 21	▲ 17
営業利益	35	73	63	63	41	11	10	▲ 21
天然ガス系化学品	5	14	3	▲ 8	▲ 6	▲ 15	▲ 4	▲ 35
芳香族化学品	▲ 10	9	4	▲ 1	▲ 6	▲ 21	▲ 24	▲ 7
機能化学品	27	39	42	44	41	38	27	9
特殊機能材	12	15	23	26	18	14	17	12
その他	1	1	0	1	0	3	▲ 0	1
消去または全社	▲ 0	▲ 5	▲ 10	1	▲ 8	▲ 6	▲ 7	▲ 2

(参考)

持分法利益	60	42	41	37	27	37	20	5
--------------	----	----	----	----	----	----	----	---

連結 2010年度 営業外損益・特別損益

	2010年度	2009年度	増減
営業外損益	130	33	98
持分法投資損益	179	88	91
金融収支	▲ 7	▲ 8	1
為替差損益	▲ 17	▲ 10	▲ 7
その他	▲ 24	▲ 37	13

【単位：億円】

特別利益	15	24	▲ 10
特別損失	139	23	▲ 117
投資有価証券評価損	65	-	▲ 65
災害による損失	30	-	▲ 30
資産除去債務会計の基準適用に伴う影響額	18	-	▲ 18
その他	27	23	▲ 4

- 東日本大震災による設備や棚卸資産に対する被害等について、災害による損失として30億円計上。
- 資産除去債務会計の基準適用に伴う影響額として、天然ガス田の廃坑費用を中心に18億円計上。

(注) 本表の増減は対損益増減を示しております。

連結 2010年度 貸借対照表

	2011年3月末	2010年3月末	増減
流動資産	2,445	2,181	264
現預金	480	276	204
売掛債権	1,120	1,041	79
棚卸資産	682	620	62
その他	163	244	▲ 81
固定資産	3,325	3,213	112
有形・無形固定資産	1,811	1,660	151
投資有価証券	1,310	1,305	6
その他の資産	204	249	▲ 45
資産合計	5,770	5,394	376
負債	2,888	2,613	275
買掛債務	601	565	36
有利子負債	1,827	1,658	168
その他	460	390	70
純資産	2,883	2,781	102
株主資本	3,062	2,920	142
その他の包括利益累計額	▲ 281	▲ 228	▲ 53
少数株主持分	102	89	13
負債・純資産合計	5,770	5,394	376

【単位：億円】

▶ 【内訳】

設備投資 354億円、連結範囲変更等 130億円、減価償却 ▲292億円、為替換算影響 ▲15億円、除却等 ▲25億円

▶ 新規連結、リース債務の増加など

▶ 資産除去債務の計上など

▶ 円高による為替換算影響など

自己資本比率 2011年3月末 48.2%
2010年3月末 49.9%

連結 2010年度 キャッシュフロー計算書

	2010年度	2009年度	増減	【単位：億円】
営業キャッシュフロー	398	313	84	
税前利益	239	75	164	
減価償却費	290	295	▲ 6	
持分法投資損益	▲ 179	▲ 88	▲ 91	
持分法適用会社からの配当金受取額	78	92	▲ 14	
運転資金等	18	▲ 90	108	
法人税等支払額	▲ 48	28	▲ 76	
投資キャッシュフロー	▲ 246	▲ 337	90	
設備資金	▲ 232	▲ 305	72	
投融資資金等	▲ 14	▲ 32	18	
財務キャッシュフロー	▲ 18	▲ 154	135	
借入増減等	26	▲ 93	119	
配当金支払	▲ 45	▲ 60	16	
現金及び現金同等物に係る換算差額	▲ 30	▲ 4	▲ 26	
現金及び現金同等物の増減	102	▲ 181	283	
現金及び現金同等物の期首残高	360	531	▲ 170	
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額	5	11	▲ 7	
現金及び現金同等物の期末残高	468	360	107	

セグメント別 実績比較（2010年度/2009年度）

天然ガス系化学品

【単位:億円】

	2010年度(実績)			2009年度(実績)			増減		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	723	794	1,517	551	662	1,213	171	133	304
営業利益	▲ 5	19	13	▲ 39	▲ 21	▲ 59	33	39	73

- **メタノール** …… 燃料用途を始めとする中国需要の牽引により世界需要が拡大し、平均市況(2010年1~12月)は前年比70ドル程度上昇(200\$→270\$)。ブルネイとベネズエラの新規プラント稼働による販売数量増加もあり、増収。海外メタノール生産会社の持分法利益は増加。
- **メタノール・アンモニア系化学品** …… アジア需要に牽引されMMAやネオペンチルグリコールの市況が上昇したことなどから、収益改善。
- **酵素・補酵素類** …… 固定費負担は減少したものの、コエンザイムQ10の販売が低調に推移したため、厳しい損益水準が続いている。
- **原油・エネルギー販売** …… 原油の販売価格上昇により、増益。

芳香族化学品

【単位:億円】

	2010年度(実績)			2009年度(実績)			増減		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	554	580	1,134	441	517	959	113	63	176
営業利益	3	▲ 0	3	▲ 31	▲ 27	▲ 58	34	27	61

- 特殊芳香族化学品 …… メタキシレンジアミン、MXナイロン、芳香族アルデヒドにおいて、それぞれエポキシ硬化剤用途、ガスバリアボトル・エンジニアリングプラスチック用途、樹脂添加剤用途などの需要が欧米を中心として好調に推移し、収益改善。
- 高純度イソフタル酸 …… 中国などのアジア地域でPETボトル用途を中心として需要が拡大。第4四半期(2011年1~3月)に入り、市況の騰勢が一層強まるも、円高の影響もあり、損益の十分な回復には至らず。

機能化学品

【単位:億円】

	2010年度(実績)			2009年度(実績)			増減		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	720	641	1,360	554	648	1,202	166	▲ 7	159
営業利益	86	65	151	36	79	115	50	▲ 13	37

- 工業用無機薬品

・・・ 過酸化水素は、紙パルプや工業用酸化剤向けに販売数量が増加し、収益改善。
- 電子工業用薬品

・・・ 半導体向け、液晶向けともに販売数量が増加し、海外子会社を含め、増収増益。
- エンジニアリングプラスチック

・・・ PCは、販売数量の減少と原料BPA価格の上昇により減益となったが、POMは、好調なアジア需要に支えられて前期を上回る。

PCシート・フィルムは、フラットパネルディスプレイ向けフィルムの販売価格が下落するも、携帯電話やノートパソコン向けシートの販売数量が増加したことなどから、増収増益。

※ 震災により、主要生産拠点である鹿島工場は操業を停止したが、業績に対する影響は主に2011年度に発生する見通し。

特殊機能材

【単位:億円】

	2010年度(実績)			2009年度(実績)			増減		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	320	275	595	296	308	604	24	▲ 33	▲ 9
営業利益	50	27	77	29	32	61	20	▲ 5	16

- 電子材料
 - ... 半導体パッケージ向けBT材料は、携帯電子機器・デジタル家電用途の需要が期初から好調に推移したが、ユーザーの在庫調整などから第2四半期後半より減速。更に、震災以降、エレクトロテクノの生産が一時期停止したこともあり、売上高は前期並みに止まるも、コスト削減効果などにより、増益。
- 脱酸素剤
 - ... 国内食品分野において、猛暑の影響を受けるも、一方で食品の個包装化の進展や、その他用途が堅調に推移し、前期を上回る。

2. 2011年度 見通しについて

◇ エレクトロテクノ（福島県西白河郡西郷村：電子材料製造子会社）

- * 3月23日：製品在庫の検査・確認が完了し、出荷を再開
- * 4月初旬：震災前生産量の1/4水準で一部BT材料の生産再開
- * 5月初旬：震災前の需要を満たす水準まで半導体パッケージ基板用BT材料の生産能力を回復

◇ 鹿島工場（茨城県神栖市：過酸化水素およびポリカーボネートの製造拠点）

- * 4月下旬：過酸化水素、ポリカーボネートともに、原材料・ユーティリティの調達に一定の目処が立ち、試運転を含め部分的に生産再開
- * 5月中旬：法定の定期修理を実施（予定）
- * 6月下旬：通常操業再開（予定）

⇒ 過酸化水素の生産状況の改善を背景として、川下製品である超純過酸化水素の供給条件も改善

◇ 業績予想

- * 当社グループにおいては、東日本大震災により機能化学品と特殊機能材の主要生産拠点である鹿島工場とエレクトロテクノが被災し、生産停止を余儀なくされた。
- * エレクトロテクノは5月初旬から震災前の水準まで生産が回復しているが、鹿島工場については、通常操業の再開は6月下旬になる見通し。
- * 復旧への目処が立ったものの、両拠点の稼働動向が業績に与える影響を合理的に算出するためには、今しばらくの時間を要する見込み。
- * 従って、業績予想は現時点で未定とした。
なお、業績予想の算定が可能となった時点で速やかに開示する予定。

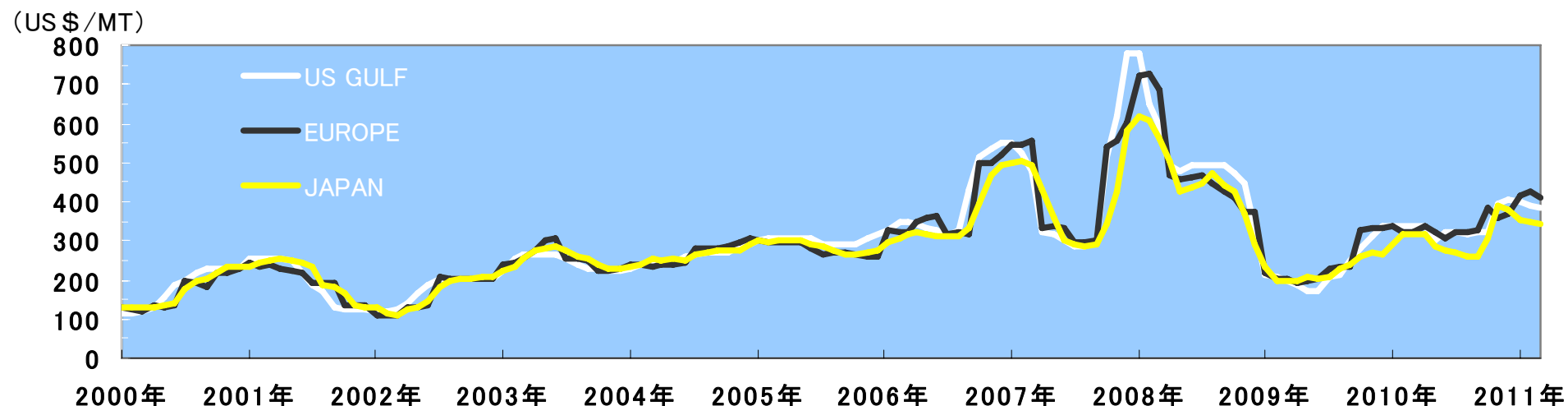
◇ 配当予想

- * 当社の配当方針(業績連動と安定配当の組み合わせ)を踏まえ、前期並みの配当(中間配当金4円、期末配当金4円)を実施する予定。

(参考) セグメント別 当面の事業環境

<p>天然ガス系化学品</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◇ メタノールは、300～350ドルの範囲で堅調に推移する見通し。 ◇ メタノール・アンモニア系化学品は、MMAとネオペンチルグリコールの好調が持続する見込み。
<p>芳香族化学品</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◇ メタキシレンジアミン、MXナイロン、芳香族アルデヒドは、海外需要に牽引されて、販売数量が増加する見通し。 ◇ 高純度イソフタル酸は、需給環境の改善を背景として、販売数量の拡大と値上げにより、損益の更なる改善を図る。
<p>機能化学品</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 過酸化水素・電子工業用薬品・ポリカーボネート事業は、生産活動の停滞が懸念される半導体・自動車等サプライチェーンの影響を大きく受けるため、先行きの不透明感が強い。 ◇ 鹿島工場の6月下旬の通常操業再開に向けて引き続き全力を尽くす。
<p>特殊機能材</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 半導体パッケージ向けBT材料は、顧客への安定供給の継続が最優先課題。高品質を武器にシェアと収益性の維持に努める。 ◇ 脱酸素剤は、食品分野で震災の影響が懸念されるが、引き続き拡販に注力する。

(参考) メタノール価格の動向



(2011年の展望)

需給動向: 需要は、中国の燃料用途や既存の化学品用途を含め、世界全体で堅調に増加（前年比700万トン増の5,400万トン）。

供給は、エジプトの新規プラント(130万トン)が稼動したことに加え、北米の休止プラント(計130万トン)の再稼動が予定されている。

今後も生産能力に余力のある中国の石炭原料プラントが、市況の上下に応じて稼動と停止を繰り返すと想定。

⇒ 価格動向: 引き続き中国の石炭原料プラントが調整弁となり、現行の原油価格水準を前提として、市況は300～350ドルの範囲で推移すると想定。

3. 參考資料

セグメント別 連結 2010年度 経常利益(実績)

【単位:億円】

	2010年度(実績)			2009年度(実績)			増減		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
経常利益	173	191	364	▲ 26	100	74	199	92	290
天然ガス系化学品	37	78	115	▲ 34	11	▲ 23	72	67	138
芳香族化学品	▲ 4	▲ 4	▲ 7	▲ 45	▲ 36	▲ 81	42	32	74
機能化学品	89	82	171	35	89	125	53	▲ 7	46
特殊機能材	50	25	75	26	29	55	24	▲ 4	20
その他	10	14	23	7	9	16	2	5	7
消去または全社	▲ 9	▲ 5	▲ 14	▲ 15	▲ 3	▲ 18	6	▲ 1	4

※ 2010年度より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)および「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)の適用に伴い、決算短信および有価証券報告書のセグメント情報については、経常損益を開示しております。

各種指標

1. 各種指標推移(連結)

(単位:億円)

	2005年度 実績	2006年度 実績	2007年度 実績	2008年度 実績	2009年度 実績	2010年度 実績
設備投資額 (うち第2四半期累計)	175 132	295 147	394 160	351 193	276 141	354 146
減価償却費 (うち第2四半期累計)	188 94	注) 198 91	注) 245 110	289 135	295 137	290 138
研究開発費 (うち第2四半期累計)	106 55	115 58	136 66	147 67	162 74	164 74
人員 (年度末時点)	4,466人	4,561人	4,686人	4,902人	4,920人	4,979人
一株当たり 当期利益	71.0円	86.6円	87.0円	15.3円	12.9円	41.9円
ROA (総資産経常利益率)	9.5%	10.5%	10.2%	1.2%	1.4%	6.5%
ROE (自己資本利益率)	14.5%	15.0%	13.7%	2.5%	2.2%	6.9%
配当額 (うち第2四半期末)	10.0円 4.0円	14.0円 6.0円	16.0円 8.0円	16.0円 8.0円	8.0円 4.0円	8.0円 4.0円

注) 2006年度の減価償却費は、特損に計上した88億円を除いた額となっております。

2. セグメント別 設備投資額・減価償却額(連結)

(単位:億円)

		2005年度 実績	2006年度 実績	2007年度 実績	2008年度 実績	2009年度 実績	2010年度 実績
設備 投資 額	天然ガス系化学品	26	62	56	107	71	140
	芳香族化学品	47	75	172	106	77	45
	機能化学品	69	87	74	91	81	148
	特殊機能材	32	70	92	47	45	18
	その他	0	0	0	0	1	3
減 価 償 却 費	天然ガス系化学品	45	46	54	64	75	86
	芳香族化学品	36	37	52	77	79	78
	機能化学品	71	80	96	97	86	80
	特殊機能材	35	36	42	51	51	42
	その他	0	0	0	0	4	4

3. 業績前提

	2005年度実績		2006年度実績		2007年度実績		2008年度実績		2009年度実績		2010年度実績		メモ
	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	
メタノール (US\$/MT)	270~290	250~270	280~300	370~390	370~390	360~380	460~480	290~310	160~180	220~240	250~270	270~290	
原料キシレン (円/kg)	69	83	99	96	108	103	122	56	72	73	71	84	公示価格
ビスフェノールA (US\$/MT)	1,200 ~2,000	1,000 ~1,300	1,200 ~1,600	1,600 ~1,700	1,800 ~2,000	1,800 ~2,000	1,800 ~2,000	800 ~1,500	1,000 ~1,300	1,200 ~1,700	1,800 ~2,100	2,100 ~2,500	主要平均CIF価格
ポリカーボネート (US\$/MT)	3,200 ~3,300	3,000 ~3,300	2,900 ~3,100	2,400 ~2,750	2,600 ~2,850	2,400 ~2,850	2,450 ~2,850	1,900 ~2,450	1,900 ~2,400	2,400 ~2,900	2,450 ~2,950	2,400 ~2,900	
為替 (円/US\$)	110	117	115	119	119	109	106	95	96	90	89	82	

※メタノールについては、上期は1-6月、下期は7-12月を示す。

お問い合わせ先

三菱ガス化学株式会社
広報IR部

TEL 03-3283-5041

<http://www.mgc.co.jp/>

＜見通しに関する注意事項＞

当資料に記載されている内容は、いくつかの前提に基づいたものであり、将来の計画数値や施策の実現を確約したり保証したりするものではありません。